第三千七百九十號 (一)　THE KEIJO NIPPO　大正七年一月十八日　(年中無休刊)

京城日報

十七日夕刊 (朝夕刊併せて八頁)

○露都捕虜委員會
露國側の權利主張　協商行惱む

露都電信に依れば目下露都に開會中の露國及び獨墺側捕虜委員會に於て露國委員は露國に於ける獨墺捕虜並に獨逸社會黨員に如何なる販物をも配布し且つ獨逸社會黨員に直接に電報通信を交換し得る權利を主張し且つ獨逸に於て勞役に從事しつゝある波蘭及びリタウエン人の爲め調査委員の設置を要求したるも獨逸委員は前記の問題に關し協議するの訓令を受領し居らざる旨を答へ協商は目下行惱みとなり居れり(倫敦電報)

○英對露態度依然

倫敦タイムス紙は五日の紙上に於て聯合國政府が遠からず露都に於ける過激派政府を承認すとの說並に倫敦駐劄露國大使に任命せりと報道されしリトヰノフ氏(露國無政府黨員にして前露國政府の依賴により英國に拘禁せられし人)を政府は承認するなどの風說に就き英國政府の態度は依然變更する事なきを信ずべき理由ありとの記事を揭げたり(倫敦電報)

○佛ウ政府に貸資

佛國政府はウクライン政府に對し金貨二百萬留を貸與せりと(倫敦電報)

○英爆彈襲擊成功

英飛行機は十三日拂曉ライン平原のカールスルーエに [illegible] 效果を悟し其の爆發せるを目擊せり、鐵道沿線の諸工場 [illegible] 我飛行隊は全部無事歸還せり(倫敦電報)

○主戰督軍連の氣勢
徐世昌を總統に段祺瑞を國務總理に

十六省督軍は十三日再び馮總統に電請し速かに討伐令を下さん事を促せり主戰派督軍連は討伐令を請ひて馮總統の之れを容れざるに於ては自由行動を執り臨時參議院を天津に移し國會の權を代行せしめ馮總統及び王總理を排し徐世昌氏を大總統に段祺瑞氏を國務總理となさんとするものゝ如く右に對し總統府は極力對抗策を講じ居れり(北京特電)

東京より
在京　一記者

帝國軍艦の烏港派遣

○露國の過激派政府は獨墺同盟國と單獨講和の交涉を進めつゝあるに拘らず、國內の秩序は紊亂し、各州の民族各分立を企てつゝあり其の餘波東部西伯利亞に及びイルクツクの紛擾と爲り哈爾賓の動亂と爲り、支那兵の出動をさへ見るに至りしが今や烏港も亦危險狀態を現出し我が帝國艦隊の派遣を要せざる可からざるに至りたるもの洵に已むを得ざる所也。

○目下我が居留民の烏港に在住するもの二千以上に達し聯合諸國民の居留するものも亦た少からず、且つ聯合國より露國に供給すべかりし軍需品は同港に山積しつゝある有樣なりと云ふ、然るに過激派の勢力東部西比利亞方面に浸潤せしより以來烏港方面の警備甚だ不完全にして銀行、會社及び大商店等は何れも萬一の變を恐れて之れが店舖を閉鎖し、恰も正月の如きは過激派と溫和派との間に衝突起るべしとし人心恟々、何時如何なる騷亂を出現せむも測る可からざる狀態に在りしが如し、此時に當り我が帝國が艦隊を烏港に派遣して萬一の變に備へ帝國の力に賴りて [illegible]

王世子御動靜
(十六日)

[illegible] 十一時五分大漢門御出門、同十五分李堈公邸に赴かれ [illegible] 十分昌德宮に御著き [illegible] 王世子の爲に午餐の御催しあり [illegible] 此席には長谷川總督、山縣政務總監、松川參謀長、立花師團長及び [illegible] 並に左の諸氏を招待せらる [illegible] 斯くて午後一時宴を移り同二時 [illegible]

總督邸晩餐會

[illegible]

隊部長會議

[illegible]

辭令傳達式

[illegible]

金德漢氏襲爵

[illegible]

鮮鐵貨車の大障礙
輸送力の減退、最近漸く復舊す

今冬の嚴寒は頗る酷烈にして [illegible]

△約四百輛

は車輛部 [illegible] 一千七百輛中 [illegible]

△全線の混雜

[illegible] 鮮內運輸貨物の停滯を [illegible]

△黑澤工場長談

[illegible]

△車軸に滲透

[illegible]

免許漁業件數

昨年十二月中免許漁業出願件數は六十一件にして內免許五十件、不免許五件なるが [illegible]

新連帶貨物

[illegible]

粘土石炭會社

[illegible]

紅蔘價格

[illegible]

釜山の驛長會議

[illegible]

遞信判任昇給

[illegible]

淸津近海明太魚

[illegible]

大塚步兵官用 [illegible]

[illegible]

全北客年棉花狀況

[illegible]

行路病人收容所移管

[illegible]

民族發展に必要
耐寒の設備は
(二) 義州にて陸軍始式
立花將軍談

▽年越蕎麥

[illegible]

▽碧潼を通過

[illegible]

▽陸軍始の式

[illegible]

▽寒威と奮鬪

[illegible]

▽益々體力强健

[illegible] 歸せざるを得ない。

新春新謡

[illegible]

人事消息

[illegible]

社告

近來本社名と紛らはしき社名を用ひ各道及び滿洲方面を訪問し廣告書籍等を勸誘するものあり本社員と誤認せられ愛讀者の迷惑を被むるもの有之やに聞き及び遺憾に堪へず依て當分の內本社員出張の場合は必ず其地區を限りて社告することゝ致し候に付此段豫告候也

一月十七日

京城日報社

⊠御慈みを漏れ承りて
美はしき御父子の温情を偲ぶ

▽世子の御體格を氣遣ひ給ふ

李太王の王世子を御慈くしみ給ふ事は漏れ伺ふ度び毎に記るせし所なるが十六日囑託醫なる神岡總督府醫院醫官の

◎德壽宮に 參候せし折り太王には醫官に向はせ御せらるゝ様世子の體格は如何にも逞ましくなりたる様見受くるも身丈の短かきは何か身體に故障あるに非ずやと問はれたるに對し醫官は御座に御答へ申して曰く「身長の御低きは世間有勝の事にて

◎些さかも 御心配ある儀に非ず、殊に小山典醫の診察申上げし處に據れば脈搏も極めて御丈夫の由なれば御健康に就ては毫も懸念申すべき所なし」と申せしに李太王殿下は殊の外御喜びあらせられし由

▽御慈愛籠れる金指輪

太王の世子を掌中の珠として慈しみ玉ふ事は是れのみならず十五日午後昌德宮より德壽宮に御歸還あり例の如く

◎御出入の 度毎に母堂の御慣ならば「只今行つて參ります」とか「行つて參りました」とか[illegible]

◎御待受の 態にて[illegible]は和子に遣はすべきものあり[illegible]て世子に與へ玉ひしはダイヤモンド入の時價七千圓に及ぶ金指環にて父王は御手づから指環の蓋を拔かれ世子の左の中指に嵌めさせられたる由

◎御父子の 間さは云へ如何に太王の世子に渾身の御慈愛を注がせらるゝかを拜察するに足れり、左れば世子も十六日宗廟外二廟に參拜ありし時、御指に光燦爛たる温き情けの籠りし金指環を嵌めさせたるを御覽じ上げぬ

▽醍醐粥
[illegible]

●總督府で朝鮮語辭典編纂
編纂に八年校訂に一年餘
今年の末頃發賣される

今我々朝鮮啓發の業に從事する者が朝鮮固有の文化や風俗習慣を研究するには先づ朝鮮語に通じなければならぬ事は云ふまでも無いことであるがその朝鮮語たるや又中々複雑にして容易に研究し難く加へて朝鮮語には完全なる「辭典」がない。寧ろ完全といふよりも殆んど「辭典」といふものがなかつたと云ふても好い位いである。尤とも「玉篇」等といふのがないのではないけれどもそれは「字典」であつて「辭典」ではない。又米人ゲール氏の

▽韓英字典 や佛人某の▽韓佛字典 といふのがあるはあるが其内容には遺憾の點が少く無いしかるに總督府では去明治四十三年より内地人の中朝鮮語に精通する者、朝鮮人の中國語に精通する者、又朝鮮の舊學者よりもつとも腕の勝れた人士十數人を選んで專ら朝鮮語編纂に從事させてゐた。所が朝鮮語辭典を編纂するに就いては在來朝鮮に辭典といふものがない故に何等參考になるべきものもなかつた。そして奎章閣の藏書を殆んど全部朝鮮人に讀ませてその内より

▽新語は一つ も漏れなく寫し又朝鮮人の記憶に殘つてゐる語を一々書かせて殆んど完全なる朝鮮語辭典を編纂中であつたが八年とかいふ長年限を費やして漸く[illegible]語及び吏讀、漢字を以て[illegible]表示したるもの[illegible]の三種に分けて[illegible]日本語にて精しく註釋をして[illegible]語數は[illegible]十三行

▽罫紙五千枚 に亘る大冊である[illegible]尚委員を選んで嚴密なる校訂を計つて多少訂割をした上出版する筈になつてゐるがその校訂をなすには約一年以上掛かるので書肆の店頭に出るのは今年の末か來年の初であらうとの事であるしかし印刷するだけにも餘程多額の費用が掛かる譯であるが總督府では成るべく實費を以て一般に頒ちたい方針であるさうだ。

●神靖王后陵墓に御使を遣さる

十七日は陰暦十二月五日に當り[illegible]

●常陸丸は果して敵艇に拿捕されたか
筑前丸其消息を得て近日歸る

南阿東海岸航行中行衛不明となれる常陸丸を搜索す可く特派出發せる日本郵船筑前丸は印度洋を隈無く搜索せる結果常陸丸は敵艇と砲火を交へたる後遂に敵の捕ふる所となりたるものゝ如く想像し得る證跡を得て近日歸還詳細報告す可しと（東京特電）

●雲ヶ畑に 雪の御獵
開始の日近し

[illegible]

▽それに積雪 は御獵場の最北部で三尺、中央部で一尺に達し猪鹿は御獵場の南方に集まつて、とかしこに騷ぎ廻り、恐ろしい彈丸の近く飛來するのも知らぬさまである

◇早や御獵が開始せらるゝといふので御獵場は四分せられて第一區は駒井友次郎、第二區は西田作次郎、第三區は和田仙太郎、第四區[illegible]

東京大相撲九段[illegible]廢前の景氣と大錦の場所入り姿

◎山林大火
[illegible]

◎大阪の火事
[illegible]

◎中尉慘死
飛行中墜落
[illegible]（大阪特電）

◎廿八日間無人島に
[illegible]

△同島に打上
[illegible]

△鮑のみ丸食して飢を凌ぎ
[illegible]

◎二名の河豚中毒
[illegible]

◎市原みを子
故鮮銀總裁市原盛宏氏母堂みを子は豫て病氣の處十四日終に東京の自邸にて永眠せり葬儀は十七日午後一時執行さるゝ筈なりと

◎昌德宮御物園の內室御獻立
[illegible]

◎敬愛婦人會の初會
[illegible]

◎巡査斬犯人
控訴

江原道春川郡[illegible]長[illegible]居住[illegible]る通川署長前駐在所の鈴木辰五郎巡査に誰何されたる際反抗して[illegible]法院に控訴申立て[illegible]

商況

東京期米　兵庫期米　深川正米　大阪株式　大阪三品　大阪正米

[illegible]

◎小賣值上
[illegible]

◎鮮人麴屋
[illegible]

◎紙の又々五十錢內外突飛高
[illegible]

◎精酒值上げ
[illegible]

地酒が率先値上
[illegible]

下關相場
[illegible]

京城正米
[illegible]

仁川期米
[illegible]

仁川正米
[illegible]

天氣
晴れ
[illegible]

馬蹄銀と鑄造元の銀房（上）

全く民間で任意に鑄造し而も其れが政府の貨幣よりも信用がある　併して通貨の主力となつて居る

支那貨幣の馬蹄銀といふ名稱は永い間日本人の耳に馴れた言葉である馬蹄銀とは日本人の命名して呼稱し支那では銀錠又は元寳銀と稱して居る支那人の財産として居る貨幣は之の銀錠である銀錠は大抵一定した形態に鑄造された一種の塊であつて之れを貨幣と稱する事は果して適當であるや否や甚だ疑問であるが而し實際現在に於ける支那通貨の主となるものは此の銀錠であつて文明諸國の貨幣とは全く其の形式を異にして居る銀錠には

▲種々雜多の形態　を有するものがあるが其の多くは馬蹄の形をして居る處から明治二十七八年戰役の當時から日本人は之の銀錠に馬蹄銀と命名して居る又支那に來て居る西洋人は其の形に似て居ると云ふのでシユー、シユーと呼んで居るといふ事だ銀錠は前に述べたやうに普通に元寳銀と呼ばれて居るが元寳銀の外に

▲小額面銀だの　[illegible]子だの片銀だのといふ樣々の銀錠があるが何れも其の形に由つて命名されたものらしい兎に角馬蹄銀即ち元寳銀は支那の銀錠を代表するものである馬蹄銀が通貨の主力として行はれて居るからには誰でもこれは支那政府の造幣局で製造されるものであらうと考へるが豈ぞ知らん此の馬蹄銀は

▲全く民間で任意　に鑄造するものであるから全く貨幣と稱するよりも貨幣代用の銀塊に過ぎないのであるが其の信用は却つて政府の鑄造した貨幣よりも信用が厚く通貨の主力と成つて居る是は支那でなければ見る事の能きぬ現象を云ふべきであらう、然らば馬蹄銀は何處でどんな風にして鑄造せられるか[illegible]

▲個人の造幣局か　又一種特別の面白味を持つて居る銀錠を鑄造する所は支那の稍々殷盛なる都市には何處にも存在して居る支那ではこの銀錠鑄造業者を銀爐又は銀房と呼んで居る銀爐又は銀房は顧客の註文に應じて各種の銀錠の鑄造を營んで居るが此の銀房は單に銀錠を鑄造するばかりでなく通貨の交換や其の保管を取扱つて一寸銀行と同じやうな仕事をして居る支那人間には信用の厚いものである（大連支局）

奉天服廠內容

軍需品統一の爲

既報の如く奉天被服廠は客歳より公署軍需課直轄の下に經營されつゝあるが元來被服廠開設の如きは國家經濟上關係重大にして準備部界當局は豫てより之れが實現を謀りたるも現在各軍隊に屬せる被服廠の反對と時局影響とにより容易に實行する能はざりしものなるが今回二十七師長孫烈臣氏、楊參謀長等の熱心なる軍需品統一說により張督軍より之れを陸軍部に請ひ其允許を得て差當り二十七師及び二十九師に屬する軍需品の統一を目的として一塲に限定[illegible]

宗社黨又動く

宗社黨の首領鐵良氏は客臘過激派の擾亂にて東省の動搖せるに乘じ多數の黨員を東三省に密派し已に其一部は哈爾賓に潜入せりとの密報あり支那官憲は嚴重に警戒中[illegible]

鑛產稅統一說

張督は商部總長と各省に於ける鑛產稅の輕重一定せざるは鑛業の前途を妨碍すること大なるを以て之を統一せざるべからず[illegible]

張督と家地開墾

張督は滿洲駐屯衛隊の荒地二千餘方は從來各部に人民に開放して目下耕作中なるが張督軍は[illegible]四百餘方を餘ませる[illegible]

哈爾賓歸客談

西伯利亞方面より十五日安東通過歸東せる某氏が車中に語る所に依れば哈爾賓の近況に就き語りて曰く

私は一寸西伯利亞の某地へ所用があつて昨年末二十五日哈爾賓に一泊二十六日出發某地へ出張し漸く今日歸東する譯でありますが露西亞の今日は到底如何なる人が見られ考へられても解らないだらうと思はれます所謂社會主義者と云ひ過激派と云ふも穩和派と云ふも[illegible]誰れでも解らないと云ふのが實際だらうと思ひます哈爾賓の騷動で少か左樣あれは恰度私が往道の來事で朝になつて宿屋の女中が周章狼狽と云ふ態度で室の中へ飛込み樣大騷動が起りました一戰爭が始まりましたと云ふので私も一寸驚きましたが能く〳〵聞いて見ると所謂勞兵會と支那兵の衝突ではありませんか、で事件の激烈とか凄慘とか云ふ意味に於ては驚きもしなかつたが[illegible]其れからもの〻十五分も銃の音が聞えましたが、直樣止んで仕舞つて而かも露兵が六百餘名も支那兵に降參して捕虜となつたと云ふではありませんか、是れには又驚かざるを得なかつたのです都合三ツの驚きの內で是れが一番大きかつたと思ひます、乃で哈爾賓の狀態を一寸聞いて見ましたならば所謂露兵會なるものが勢力を張り東清鐵道社長のホルワットに對し[illegible]

[illegible]市中內地人の生命の危險ではなくて掠奪的擾亂的の危險で國家的組織的のものではない樣に聞きました其れが六月以降の死者に就いて調べて見ましたが其の當時の調べによつても變死を遂げたものは哈市を通じて近々十有二名なるに强盜に遇つたものは約六十件と云ふのに見ても分明するではありませんか

[illegible]秩序と公安が保たれて居ると云ふ、でしたが、矢張り夜中の外出は依然として危險だと云ふ[illegible]であります又哈市署の歐露發の汽車の如きも決して定期には動かない[illegible]持列車であるから自分の汽車より[illegible]して先にでもやらうものなら一大事直ちに銃殺されるで各驛長さんとも命は大切と見えて決して先にやらぬ爲め[illegible]

[illegible]では氣地なくも千人が[illegible]になる六百名も[illegible]捕虜になつた氣持がしたで支那兵の[illegible]それで兵隊さん曰く[illegible]ば喰はねと云ひ一旦[illegible]は直ちに反動が何處からか[illegible]する其の御馳走が恐ろしさに[illegible]十一錢の食料にも拘らず[illegible]飯を澤山に差上げてるとの話である、是れも長い間には隨分の困り物だらうとの事

慶北蠶種製造

[illegible]大正七年度に於て慶北一圓蠶種製造[illegible]蠶種を飼育せしむる[illegible]二千枚の豫定にして[illegible]

奉省鼠疫豫防

[illegible]

醉漢衛兵に暴行

[illegible]

貯金銀行總會

安東貯金銀行は十七日公會堂に於て定時總會を開き前期利益金處分案を可決し併せて前期營業事務の經過に就て報告する處あるべしと

新義州銀行總會

新義州銀行にては十九日定時總會を開き前期營業報告をなす筈なり

警務部長巡閱

平安北道警務部長山本喜勝氏は一月十六日より二月十五日迄向卅日間管內各警察署憲兵分隊の巡閱をなすべし

此美しい頭髮の主

初春の御裝ひ

▲此婦人の志しは[illegible]

▲此婦人の喜びの日　[illegible]

▲五つの特長　[illegible]一、髮の染色が丁度生れつきの美しい黑髮のやうな色に染まります、二、そして其色が石鹼でも中々落ちない程ですから洗つても枕なぞへ附く心配がなく、三、美しい髮の色澤が非常に能く保ち、四、而も染めるのに時間が二十分間ぐらいで濟む程ですから、五、少しも手數面倒が要りません。斯ういふ特長を備へた染毛劑ですから、ナイスは今大に流行つて居りますのです

△一個大瓶七十錢中瓶四十錢男子用三十錢
△全國藥店化粧品店等にて取次販賣

キナピリン

一番よくきく　かぜねつに

キナピリンは感冒、熱病、頭痛、インフルエンザ、リウマチス、肺炎、歌熱（マラリヤ）等に大効あり

大阪市堂島元蜆橋　本舗　高橋盛大堂藥房
東京市神田區西町　發賣　高橋盛大堂出張所
各地到る處の藥店に販賣す

ゴルフ

泰昌號煙草　[illegible]

京城本町　朝鮮建物賣却　[illegible]

特に本縣に起る大問題

旅行用具一切
特製ワングル製鞄
專賣品柳製鞄
毛布一枚繪
東京製鞄各種
防水布マント各種
魔法瓶及中瓶取替
鞄製造販賣
京城本町一丁目
高木旅行用具店
電話一三四番

お顏剃の後を
どうなさる？美顏ユーマーを用ひねば地肌が醜はず荒れますぞ

醇良　銘酒　金露
大倉合名京城支店

內科　小兒科　村上病院

信用ある東京三金の靴
三金高等靴店

大金剛

左甚五郎

第百四十一席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

中村勘三郎は京都の猿樂師猿若勘左衞門の倅でございます、勘三郎は江戸へ參つて市中の樣子を窺ひますと、未だ其頃は關ヶ原大阪滅亡後で浪人が大勢徘徊をして居りまして、彼の浪人共は爲すべき事もありませぬ故深編笠に面部を包んで、鼓を拍ち謠を唄ふて貰ひ歩く者が鼻つく樣でございます、勘三郎は驚き　勘『オヤ向ふへも浪人者が來た、あゝ又此方からも浪人者が謠を唄つて來た』もいふやうな譯、乃で勘三郎が考へましたには

斯く浪人共が江戸へ入込んで市中を徘徊をして居る、終には食に窮ると人を殺して金を取るとか、又は火を放けて家を燒くとか、大勢集つて謀叛を企るとか孫たとは爲でかさない、是を取鎭めれば徳川家へ對して一ッの忠節何うか、此の浪人共を殘ず集めて事を起さん樣にしたいものだと考へながら中橋の己れが家へ戻つて來る、向ふから來た浪人者摺れ違ひざま足を止めて　浪『若し〳〵其處へお出なするは猿若の若旦那じやござんせんか』勘『誰だね』と振返つて見ると笠を脱つて傍へ來る男、勘『イヤ誰かと思つたらお前は俺の處に居る藤井彌吉ではないかね』彌『若旦那御無沙汰をいたしました、毎時御機嫌よく』勘『俺も先頃より江戸に出て來て居るがお前も此方へ來て居たのか』彌『左樣でございます』勘『如何に困ればとて何んだ其の扮裝は錢貰ひをして居るのか』彌『此方へ來も仕方がござんせんから錢貰ひをして居ますが』勘『大小を帶して浪人者に化けたのか』彌『それが若旦那妙でございますぜ、只貰つて歩いた分には誰も呉れません、で浪人の姿になつて刀をいからして變つて歩くと、ヤレ〳〵お氣の毒だといふので他人が錢を呉れます』勘『其麼こともを[illegible]して居ないで宜い相談があるから

俺と一緒に來なさい』と勘三郎は彌吉を伴て我家へ歸つて參りまして　勘『俺は彌吉俺の考へこいふのは市中に徘徊して居る浪人共を殘ず集めて此者へ狂言を教へるのだ』彌『へエー成程』勘『踊れる者は役者として、又囃方、表方の勘定係りそれ〳〵の係りを吩附けて芝居小屋といふものを建て興行をするのだ』彌『へエー』勘『一ッの業に就て生活の道が立つたなら惡いことはすまい、一ッには公儀の爲、二ッには芝居小屋を建て俺が取締座主となつて遣つて見たいと思ふが何うであらう』彌『是は若旦那のお考へは結構なこと、私なぞも何うか役者となつて踊つて見たい』勘『然うなつたら是からお前が浪人共を集めてくんなさい』彌『宜しうござんす、其の話しをしたら浪人共は喜んで參りませう』と藤井彌吉は翌日より浪人共に話しをする、何れも身體を遊惰に投つたものでありますから浪人とは云へど踊りを踊る者もあれば唄を唄ふ、三味線を彈く者もある、其等を見分けて勘三郎がソレ〳〵仕込みまする故役者になる者もあれば雜方になる者もある、又は勘定係になる者もありまする、乃で猿若勘三郎は公儀へ願を上て中橋の廣小路へ初めて芝居小屋といふものを建てました[illegible]其の勘五郎に相談をした、此の勘五郎といふ人は能く噺を描きまして三味線を能く彈く、後に初代杵屋喜三郎と云つたのは此の人でございます、勘三郎が此の夢に就て紋を替へやうと云つた、今までの定紋は五七の桐と抱き茗荷でございます、それを隅切角に銀杏鶴をしたのは隅切角は三階を伏せた形、銀杏の葉を喉へたと云ふので隅切角の中へ銀杏鶴を出したものでございます。

一月十九日　九星[illegible]

[illegible]

演藝案内

京城壽町　電話五七八番　**壽座**

一月十七、八日（替り藝題）前切　妹背山婦女庭訓大序より御殿迄　三十三處盛衰記　澤市內より谷底迄[illegible]

電話二三六七　二三六六　**黃金館**

一月十一日より[illegible]　▲新派「[illegible]」[illegible]　▲大活劇「赤目」[illegible]

明治町二丁目　電話二六〇番　**浪花館**

一月元旦より　●中京落語春風亭[illegible]一座[illegible]

有樂館

活動寫眞常設館[illegible]

電話八七三　**大正館**

[illegible]

稲荷座

[illegible]

恩給年金低利立替　業務開始

京城府大門通五丁目[illegible]　大成社[illegible]

[illegible]

新年の辭

大正の歳改まるここ愛に目出たび、面も花王石鹸の産額年を逐ふて益々増大を追出しつゝあるは、一に賢明なる各位御愛顧の賜と深く謝意を表し奉ります、顧れば花王石鹸は國産石鹸の鼻祖として、去る明治廿三年に發賣致しましてから、今日に至る迄三十年の間常に品質本位を以て製品の精錬にし、最善の品質と極度の廉價とを發揮して舶來石鹸の輸入防遏に微力を盡したる結果幸に江湖の信用を博して遂に海外に迄販路を開拓し、産額に於ても優に國産石鹸の隨一とし謂はるゝに至つたのであります。尤も

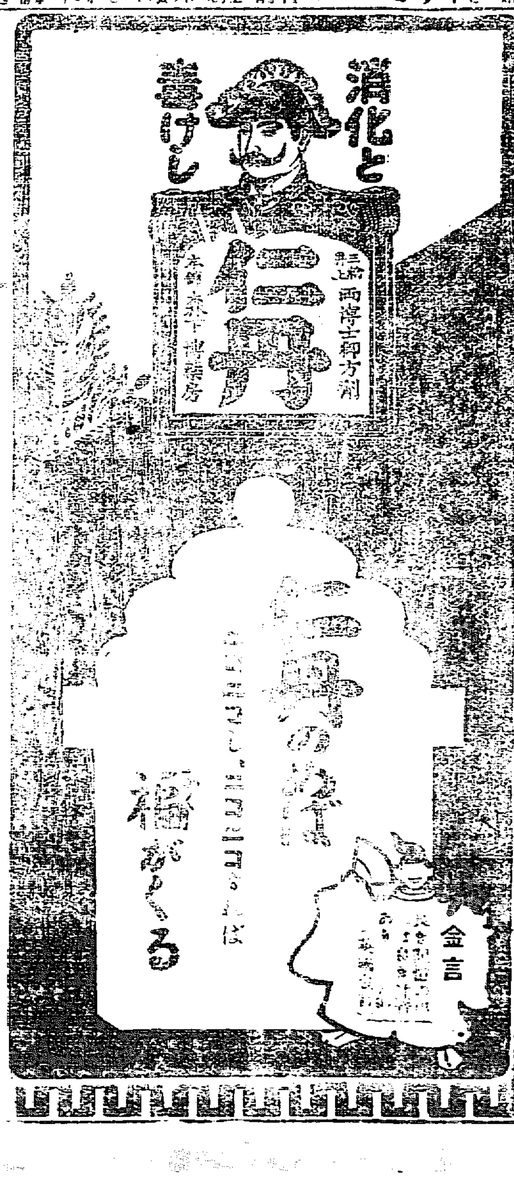
品質本位　**花王石鹸**の

優價は既に幾回の内外博覧會に於て優等の賞牌を受領したることによりても、帝國陸海軍・帝國大學・赤十字其の他の著名なる病院に於て採用せられつゝあることによりても、十分に了解せらるゝことゝ存じますが、且又各位多年御愛用の御經驗により、最近化學工業博覧會に於ける專門的審査の結果業界最優位の賞牌を受領し、更に宮內省御買上の光榮に浴したる一事は現在に於て最も權威ある證明かと存じます。弊商會は此の新たなる感激を以て弊舖の精勵を加へ、層一層品質の向上を期して居りますれば、何卒本年も

益々御愛用の程を
偏に懇望仕ります

花王石鹸製造所全景[illegible]

花王石鹸總發賣元　東京　長瀬商會　　朝鮮國代理店　大阪　大崎組商會



[illegible]

汽車發着　京釜線　京義線　京仁線　京元線　湖南線　[illegible]

京城日報

十八日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

本紙定價　一箇月金五十錢　郵稅共　… 廣告料金　…

發行所　京城太平通一丁目　京城日報社
發行兼編輯人　小田…
印刷人　…

▲十七日後場　大阪變らざる入電にて當二十圓丁度より八錢ありて七錢先二十圓七十錢さ三錢高に寄付二錢さ上伸し
▲平均値段　…
▲中限四節二十圓十六錢
▲先限一節二十圓七十錢　…

講和條件

京城日報

去五日英國首相ロイドジョージ氏演說、去八日米國大統領ウイルソン氏教書、共に講和條件に就て其詳を語るものあるや、世間講和を語るものあるや、世の聲望を論ずる者甚だ喧しく、我々主の新聞雜誌等には、我日本帝國政府は講和に關する我主張を闡明すべしと說く者すらこれ有り、戰爭最中に斯る閑論に時を費やすは、亦是れ陽春の一築たらずや。

併しながら戰爭最中に講和條件を說くに、何の益ありや、若し敵國として承諾し得ざる條件を羅列せば、敵國は之を非難すべく、味方は戰爭の益々長引くべきことを感知するだけなり、若し又敵國の承諾し得べき條件を提示せりとするか、戰爭は直ちに終結すべしと雖も、是は戰敗者ならでは爲し得ざる所の事なり、特に戰局の前途が如何に發展するかを逆睹し得ざるに際して、講和條件を具體的に示するといふが如きは、不用意の後と謂はざるべからず、是れ吾人が我日本帝國政府をして、講和條件を公表せしむべしと云ふ說に致同する能はざる所以なり。

然らば英米諸國政治家は、何故に彼が如く先を爭て、講和條件を云はむと欲するか、吾人未だ其詳を知るを得ざれども、英米諸國政治家は自己の立場より考慮して、何等か發明せざるべからざるの地位に在り、其の所謂條件なるものも、實は戰爭の目的を表明するものに過ぎず、初め英國政治家は、獨逸を粉碎して、復た起つ能はざらしむるまで戰ふべしと主張し、米國大統領及び國務卿亦獨逸の君主制を廢棄し、其軍國主義を根絶するまで戰ふべきことを宣言したるも、斯る單簡なる言明にては、或は世人の誤解を招くことなしとせず、特に露獨間に講和交渉あり、共講和條件に就て、互に相知照しつゝあるを以て、これと緊密の關係を有する英吉利政府としては、全く之れを默過する能はざる論なく、米國政府とても當初局外中立なりとして、交戰國間に調停を試み、勝敗なしの講和を懇願したるの後、一轉して自ら戰爭に參加したる行掛り上、自己の戰爭の目的即ち平和回復の標準を示するの必要あり、是れ英米兩國政府にして、初めて彼が如き表示を爲すを要する所以なり。

併しながら是等の事柄を以て、平和回復へ一步を進め至れる兆候なりとするに至りては、恐らく遠きに過ぐるものあり。英吉利は現在に於て味方の主力なり、最後の勝利を得るまで戰ふことをいふとは英吉利全國民の確定意思なり、又北米合衆國政府は、今方に作戰上の大計畫を立て、明年又は明後年を期して歐洲戰線に於て大決戰を行はむとし、今日其準備に忙殺せらるゝ所、而して日に八千萬圓を費やすも、尚ほ兩國民にして戰爭の意氣益々盛なる間は、中途にして之れを止むる能はざるや論なく、英米兩國の政治家の要務は、此意氣に投じて益々其國民の努力を要求する所たるべし。且露獨間講和交涉開始せりと云ふも、其成否固より豫知すべからざるなり、由來戰爭と講和運動とは併行して進むを常とす、今日講和運動の甚だ熾烈なるは、則ち極めて強烈なる戰鬪を伴ひ來たす所以ならざるを保せず。

在郷軍人會の發展策（三）

官民の努力を望む

陸軍步兵少佐　高橋綏次郎

…に於て內務大臣は大正三年十一月七日地方長官に訓示するに同會の振否は帝國の將來に關係する所特に大にして之が發達を期する爲には官民の援助に俟つもの多きを以て深く聖旨の存する所を奉體し部下の諸僚郡市區町村長等を督して一層之が助力に努むべき旨を以てしました、大正四年十二月御即位の大典を祝し奉り併せて聖旨の普及及び實徹を期する目的を以て全國各分會の代表者を東京に召集し大會を開いた處が其日各代表者は大觀兵式拜觀、後宮城に召され御親閱を賜り勅語を下賜せられたることは既に前に述べた通りであるが此御親閱に浴した分會には陸海軍大臣より記念綬を與へ之を分會旗の竿の頭に結び永く記念せらるゝことゝなつた、尚同月三十日各分會代表者には新宿御苑の觀菊を許され特に御紋章の御徽章を各分會に御下賜になり一同は聖恩の優渥に深く感激した、大正六年五月同會發展の狀況に鑑み從來の經驗とに基き規約を改正し地方一般官民との連繫益々密接となり其基礎彌々確實となつた、

▲本會の現況　本會は明治四十三年創立以來　皇室の優渥なる御恩に浴したのと會員の努力と陸海軍當事者は勿論關係諸省の當事者並に地方官民の協力援助に依り逐年擴張して順境に發展し大正五年四月一日には支部九十九、聯合分會六百三十六、分會約一萬三千、會員二百三十萬の多きに達し大正五年度末に於ける分會の資産として大約金額百六十萬圓、土地千五百町步、家屋六十棟、銃器六千六百挺、防具一萬二千組を有するに至り事業の成績も漸次向上し就中尚武的の事業、軍事の研究及び公益事業は見るべきものが尠くない然れども本會所期の目的を達成するが爲めには役員及び會員の熱誠を奮ひ努力に俟つもの甚だ多く前途尚遼遠であるを覺ゆるのである本會各分會等の資産は會員が獨立獨行之を作り會費の如きも會員自ら醵出し得たものを本旨としてゐるが近頃地方人士も本會の主旨を了解し一般に公益のあるを認むる樣になり大正五年の調べでは分會の經費を補助した市區町村其他の公共團體數約七千…金額二十三萬圓に達し…諸地方の官廳…局者に於ても…狀況である。

朝鮮に於ては在郷軍人及び徵兵事務を管掌する聯隊區司令官なる者がなく憲兵隊長が在郷軍人の事を囑託兼掌せられあるのと該當召集及び簡閱點呼が僅に實施せられたいのと市街地に於ては人の出入が頻繁であり又田舍では人が分散しある等の爲に在郷軍人會に對する事務の整備に不便が多く從て同分會の發達進步は內地に比し一層困難である大正五年末調に依ると朝鮮內に於ける支部數は十三、分會數は百二十を算し會員の數は約一萬五千に達し其財産は約金額一萬二千、土地百七十町步、家屋十五棟、防具五十組である而して各分會の情況は土地に依りて著しく差違があつて中には地方官民の有力なる援助を受け多額の基本金を有し活動せる狀況にして活氣を有するものあれども中には會員の多きに拘はらず振はざるものもある殊に朝鮮文物の中心地なる京城分會の如きは會員の數千二百餘名に達し居れるも會合の時には殆ど百乃至二百名の集合を見る位、而も之れ大なる都會にては團合一致して人數が多い爲め意思の疏通困難であるのと職業に忙しく離れ難いのと多い等の關係に依る樣であるが其發展を特に要求せざるを得ざる次第である

第三、如何に在郷軍人會を發展せしめねばならぬか

[illegible]

在郷軍人は國民の模範となり…を作る所以であるから軍隊では國民を陶冶する…良兵は即ち良民…教育に從事して居る其精神…教育の目的が完全に達成せられた暁には…勇、信義、質素の武德を涵養して服從、規律、協同に慣れ寒暑風雨を凌ぎ困苦缺乏に耐へ得るの身體を鍛鍊し勞苦を意とせざる所の習慣を得、不撓不屈の氣力を養成し得るから在郷軍人が此鍛鍊陶冶せられた精神と身體とに依り世路の艱難に遭遇するも能く之を…戰鬪の…

遊支偶錄

蘇峰生

（九）言語の共通

言語の共通は、必らずしも思想の共通を意味せず、又た感情の共通を意味せず。印度の排英熱は、却て英語の普及によりて、刺激せられたり。排日論者は、動もすれば支那留學生中より出で、日本に留學の者に多きを見れば、寧ろ却て反對の證據に供するを得可きに似たり。

されど苟も思想を共通せんと欲し、感情を共通せんと欲せば、言語の共通は、恐らくは其の第一端也。されど如何にして、之を共通す可き乎。今や支那留學生は、從前の三分一乃至四分一に減少したり。而して支那に於て、日本語を專門に教授する學校は、恐らくは皆無にして、之を學科の一として教授する學校さへも、寥々晨星の如くなる可し。支那に於ける日本語の前途は、實に悲觀せざらんとするも、能はざる可し。

予は此點に於て、我が朝野の識者に警告せんと欲す。即ち其の方法は多々なし。唯だ如何にして日本に招致す可き乎、如何にして支那に於て、日本語を教授するの學校を新設し、若くは既設の學校に、之を採用せしむ可き乎にあり。意志の存する所、必らず方法あり。若し思うて此に至らば、必らず最善の道なくんばあらず。

を須たざる也。乃ち言語の共通は、之を惡用すれば、惡となり、之を善用すれば、善となる。吾人は惡用の例あるが爲めに、善用の効果を疑ふ可らず。

されば日本にして、若し將來支那に於て、若しくは支那に向て、事を爲すからんと欲せば、則ち止む。苟も爲す所あらんと欲せば、日本人自から進んで、支那語の學習に從ふと同時に、支那人に向て、日本語の普及を謀らざる可らず。東亞同文書院は、聊か前者の目的に副ふ一端也。されど如何にして、…

どうして

四十三

布施生譯

…て飛起きると急がしく呼鈴を押して小間使を呼寄せ『谷さんを此處へ、直ぐに此處へよこせ』『谷さんは在らつしやいません、先刻お出懸になりました』『今時分出たのかい』『はい近頃はよく外出になります』『うむ、歸つたら早速此所へよこして呉れ』小間使が去つたあと武烈氏は再び電燈の前に立寄つて中の品物を僕かしさうに眺めながら…いや御兩君、どうも私には譯が分からない…

…『これは』と武烈氏は嚴かに…

…つまらない疑を種に、内々人に心苦しい世間の口の端に懸る樣なのは…と却て色々の推測を生じ…

…大息ついて眼を光らせたが黙りませんから。

コールタール

京城黃金町
特約販賣　龍山漢江通九
電話四九番
金物商　島田忠作商店

臨時國庫證券募集廣告

今般大藏省令第一號ヲ以テ臨時國庫證券（六號）募集相成候ニ付御希望ノ向ハ各地當店ヘ御申込相成度候

一、募集金額　五千萬圓
一、利率　…
一、償還期限　…
一、發行價格　…
一、申込期日　…
一、證券ノ種類　…
一、拂込期日及金額　…

大正七年一月
日本銀行京城代理店
朝鮮銀行

二月號　トモダチ

文學士寺田精一先生監修

幼年繪雜誌中拔群の好評
美しい繪と面白いお話　教育お御噺が滿載

發行所　東京麴町　二葉社
振替東京三一三六三　電話番町四〇五八

醇良清酒

謹告

本日より大樽一樽に付金二圓也値上

酒價及び諸材料暴騰の爲め不得已値上仕候條不惡御了承の上益々御引立の程奉冀上候　敬具

一月十五日

陸軍御用達
京城蓬萊町
三巴酒造株式會社
大田出張所
平壤出張所

電氣化學科特設（晝間）（夜間）
電氣學校
豫科講義錄完成

生徒募集　校外生　…隨時入學
東京市神田區錦町　電話本局七九八五一三〇

資本金參百萬圓

株式會社　漢城銀行

當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城府南大門通四丁目

頭取　李允用
專務取締役　韓相龍
支配人　張弘植

支店所在地　水原、平壤、大田、開城、南大門
出張所所在地　鍾路、東幕

洋家具

松浦京城出張店

電話二三五九番

朝鮮語會話精通

朝鮮總督府屬　西村眞太郎著

袖珍總クロース頭美本　七百餘頁　定價金壹圓參拾錢

一、世に朝鮮語の會話に精通せられむとする人士は速に本書を購せられよ
一、殊に同氏の前著「朝鮮語會話」を研究せられし人士に取りては必讀の續篇とす
イ、單語の數は實に八千以上なり
ロ、難解の副詞に適譯を附したるもののみにても五百とす
ハ、内鮮人間に膾炙せる俚諺の適譯計六百
ニ、譯方正確にして且つ嶄新
一、本書は各學校教師及學生各裁判所警察官署通譯生銀行會社並に講習會に對し宿年の渇望を充すに足る良著たり幸に一本を机上に載せて御愛讀の榮を賜らむことを祈る

發行所　京城太平通一丁目　京城日報社代理部

製造元とのやくそくで

割の安い品ぞろいの

大阪…
河野本店
電話…

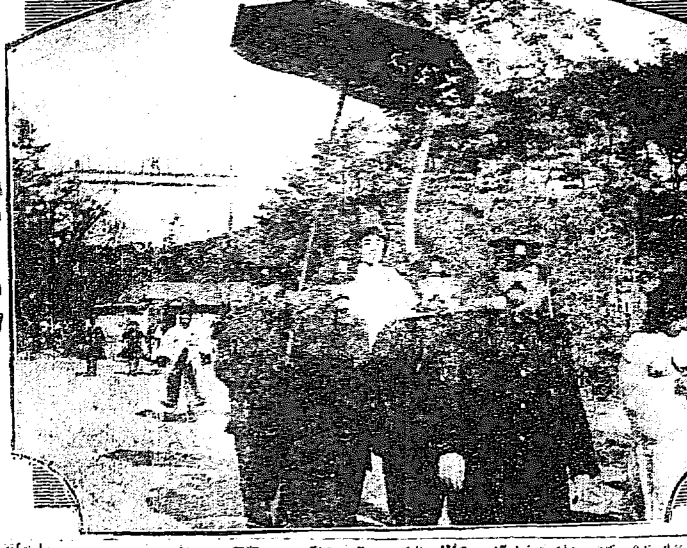
比較は最良の選擇法なり!!

サクラ正宗

京城明治町二丁目
山邑京城支店

難病撲滅
哲理治療

釜山府…
健全哲學舘大學朝鮮分館



◎洪陵御展謁 世俗で『清涼里の王妃の陵』と稱して居る『洪陵』卽ち閔妃の陵に十七日王世子殿下が參拜されたのである

◎露國極東問題提議
支那問題は主義として提議せず

過激派政府は講和會議に於て極東問題を提議するに決したるが右の中支那に關しては（第一）支那は支那人の處理する所にして他國の干與するを許さず（第二）支那の領土保全は隣國に日本に委す可きものにして且つ日本に對して何等隔意を有せずとの政府の意なるを以て之は會議に附せざる可しと（倫敦電報）

◎領土問題討議顚末
▽露國の新提議四箇條

一月一日ブレスト、リトウスクにて任命されたる委員會が領土問題を討議したる事に關する獨逸側の報告に依れば右委員等は二日間に亙り兩地の人民狀態及び其撤退問題に關して論爭を闘はしたるが右は何等決定を見るに至らざりき獨逸側は占領地の人民は既に其代表者團を通じて露國より分離せんとする希望を披瀝せりと論じ露國側は其れ等の團體は代表者に非ずと云ひ更らに前回の協議に提出したる三箇條に代ふるに四箇條の提案を以てせり其四箇條左の如し（倫敦電報）

第一、領土及び自決問題に對する權利は其の國民に歸屬するものにて非占領地方に屬するものに非ず

第二、獨墺國は占領せられたる露國領土併合の主張を拋棄し今後は武力を以て右領土の獨立を制限する事無かる可し之等獨逸が占據せる地に於て憲法制定に先立ち國運自決を基礎として軍事會議を開催する事之等地方の運命を決す可き投票は外國軍隊の撤退及び國外避難者及び放逐者の歸還を爲したる上之を行ふ事

第三、平和條約署名の後之等の地方は各政黨代表者より成れる特別委員會に依り行政を執行し同委員會は人民一般投票を行ふ事 軍隊撤退の時日は特別委員にて定む

第四、之等地方最後處分は民主投票に依りて決定す

◎汎獨主義を裏切る
獨逸政界最近の實情

汎獨逸主義者は依然領土併合運動を行ひつゝあるも獨逸に於ける實情は何等の聲言を裏切るもの尠なからず卽ち從來一箇年餘も[illegible]禁止されたる獨立社會民主黨員四千名はジェナに於ける[illegible]會に出席して滿場一致理解に基く一般的講和贊成の決議案を可決し次で演壇に殺到して祖國黨員を追つ拂へり、フランクフォルトに開催せられたる集會にては前植民大臣デルンブルヒ氏は一場の演說を試みたるが同集會は昨年七月十九日獨逸帝國議會にて可決せる決議を基礎とする講和贊成の決議案を可決せり[illegible]

◎講和會議の休會

獨逸が其與國と協議せん爲め[illegible]休會となれるが次期の開會期日は未だ決せず

◎死刑制可決 [illegible]府樞密院會議にて死刑制度を可決せり（東京電報）

◎大連市豫算 大連市の七年度豫算は約[illegible]と決定せるが新[illegible]はなし

◎ペスト防疫會議 大連民政署にては十七日[illegible]

◎蠣田事務官東上 [illegible]

◎馬山奇港懇請 [illegible]

◎高等試驗制度內容
▽各試驗の統一—私學出身優遇
實施期は五箇年間保留

（東京特電）十六日樞府會議を通過せる高等試驗令の內容は從來の高等文官試驗、外交官及び領事官試驗、司法官試驗等は各別の試驗規定に依り施行し來りしが今回之を一括し同一受驗資格の下に或程度迄同一試驗を施さんとするものにして其の要領は中學校卒業者及び之と同程度の普通學試驗に及第せるものに對し受驗資格を認め豫備試驗には語學及論文試驗の二種を科し[illegible]

▲本試驗は一回に分ち[illegible]

▲文科出身者にても受驗し得らるゝやう之等の點を緩和[illegible]

▲裁判所構成法 改正の[illegible]

◎通學道路改修難 [illegible]

◎晉州金融近況 [illegible]

◎司令官參宮 [illegible]

◎京城府特別手當 [illegible]

◎木本氏東上期 [illegible]

◎露國戰爭繼續か

[illegible]

◎昨今群山市況 [illegible]

◎全北紫根生產高 [illegible]

◎大學教授の抗議

[illegible]

◎獨艦ヤーマス砲擊

十四日夜獨艦[illegible]ヤーマス[illegible]

◎獨逸政界のヂレムマ
▽軍事外交當局の衝突

[illegible]全獨派は軍事當局を後援し外相キウルマン氏を盛に攻擊[illegible]社會黨は孤立して妥協平和を主張し[illegible]普佛兩戰役の終りにビスマークが遭遇せる困難と同一[illegible]一方には赫々たる武勳を有する軍人の慾求を充たさざるべからざると同時に他方には國家の長計を考へざるべからず

◎馮總統を詰問す

唐繼堯、程璧光、程潛、李烈鈞、岑春煊、伍廷芳、孫文、石星川諸氏十二名は十四日馮總統に宛て舊國會の恢復其の他を以て詰問するの長電を發せり（上海特電）

◎輕鐵工事現況

朝鮮輕便鐵道全州裡里間、慶州浦項間四十八哩及び慶州河陽間二十七哩半は昨今全力を盡して工事の進捗を圖りつゝあり尙全州鳥致院線は目下實測中なるが前記各線[illegible]大邱浦項間六十三哩は[illegible]五十萬圓を以て本年九月中には竣成を見るに至る可く又鳥致院線は測量終了と共に[illegible]

◎炭坑夫餓死 沖繩縣八重山西表炭坑夫二十八[illegible]

◎手負猪噛付く [illegible]石川主獵官が殪せり（大阪特電）

◎英國製鐵增加 [illegible]本年は總產額二千三百萬噸內外に達し英國の三倍弱を產したり然るに英國は昨年以來米國より一個年約[illegible]卽ち千九百十七年は概算前年より三割三分强を增加し居れり[illegible]

戰亂中に於ける雜貨輸入の狀況 [illegible]

◎百聞百種 [illegible]

人事消息 [illegible]

商業登記公告 [illegible]

京城地方法院

生徒募集 京城專修學校

資本廣告 [illegible] ボイラー [illegible] クラッシャー [illegible] 各種プーリー シャフト [illegible]

最新刊 [illegible]

大阪屋號書店

最新朝鮮地誌 [illegible] 全道に殆んど足蹟を印し其後各道に於ける最新の朝鮮地理 [illegible]
發行所 大阪屋號 取次所 [illegible]

●王世子洪陵御參拜

香煙縷々寢殿に罩めて　古式に則りて御禮拜あり

▽香煙縷の如く立昇る中に眼も綺なる御姿にて

李王世子殿下には洪陵、永徽園、裕陵御參拜のため十七日午後零時三十分德壽宮御發門あり、途中は警部巡査を乘せたる自動車を先驅とし殿下の自動車には

■金武官陪乘し其他隨員及び御親戚貴族李王職員は數臺の自動車に分乘し後本目德宮署長以下警察官を乘せたる自動車を後衛として黄金町通より鍾路通を經て三十分の後清涼里に御到着相成りたるが殿下には沿道の風光に親しまれて

■墨繪の如き北漢山の眺め、長閑けき郊外の風景など稍暫く眺められつゝ[illegible]と仰せられしとぞ、永徽園前齋室に御下車相成りし殿下には御少憩の後翼善冠、龍袍、烏帶、白皮靴の眼も綺なる御姿にて再び自動車に召され、李太王殿下の先妃

■閔妃の御陵に進かる紅門前にて御下車の殿下は御附事務官の先導にて白皮靴の音も靜かに疎石の道に敷きたらん許りの芝草の上を靜かに歩ませ給ひ、寢殿に進んで入らせらる、寢殿には洪陵の御食を供へられ、燭臺の灯搖らぎ香の煙縷なりとして殿内を罩め[illegible]と云はん方なく

■版位に入り給ひし殿下は北向に立たれ、御禮拜の後、御附事務官の先導にて再び芝草を踏まれつゝ見上ぐる許りに高き御陵に上られ、一應奉審の上御陵を下り便次にて御休憩遊ばさる

▼篝火焚きて　酌獻禮の儀

驚く可き御忍耐[illegible]刻に至れば寢殿前庭に篝火を焚き殿下の御登殿を待つ程に殿下には便次にて盥帨の後、版位に入られ禮官の御案内にて酌獻者が捧ぐる香爐を御捧持の後、御禮拜の後、香合より

■香を取りては焚かるゝこと三度、再び俯伏して御禮拜あり斯くて厳粛なる儀式を滯りなく執行はせられ便次に於て御休憩に成りたるが、此時寒氣骨に徹るばかりにて殿外に起立せる隨員一同も[illegible]

■唇紫に凍る程なりしも殿下には流石に軍隊生活を嘗められしだけありて此も御苦痛の模様だには無く、御進退の折も[illegible]皆々御感激を寄せ申上げける

▼御生母在すが如く

‖御兩眼に涙を湛へられつゝ　嚴妃の御陵に御展謁

洪陵の酌獻禮を終らせられたる世子殿下は直ちに御生母嚴妃を祀れる永徽園へと成らせらる、寢殿は前記洪陵同樣の御供饌にて、酌獻の儀あり異る處なきも、世子殿下の御胸中に

■涙に曇らせ給ひて、版位に登らせて御再拜遊ばさるゝ際の如き[illegible]如く俯伏[illegible]御展謁の式終りて御陵上に御參拜[illegible]

■嚴妃の妹君[illegible]

▼裕陵御展謁

[illegible]

▼植物園の御内宴

世子殿下御一行は裕陵の御參拜を終り自動車にて[illegible]

■永徽園御展謁　王世子殿下は十七日洪陵御參拜に次いで御生母嚴妃の陵に參拜せられた、場所は洪陵の少し手前から右へ入つた處である。

●眞逆樣に墜落す

◆坂元飛行中尉慘死詳報◆

‖原因は發動機の故障から‖機體は木ツ葉微塵‖中尉は血を吐いて即死‖

陸軍航空隊教官同研究會委員陸軍工兵中尉坂元守吉氏は十七日午前九時廿分制式二號の運轉を爲すべく之を所澤飛行場の南端に引き出し北に向つて約百米突の滑走にて離陸し卅米突の高度に達するや突如發動機に故障を生じ機首に激しき動搖を見しよと見る間に眞逆樣に棒立となりて墜落粉碎し坂元中尉は前額部に拇指大の裂傷を負ひ胸部を強打したる爲め吐血即死し充場慘憺たり折柄場内に在[illegible]

▲故中尉陞敍

坂元中尉慘死の趣天聽に達するや十七日附左の御沙汰ありたり（東京特電）

陸軍工兵中尉從七位勳六等　坂元守吉

叙正七位敍勳六等授單光旭日章

▲青島戰の勇士

中尉の死は航空界の大損害

[illegible]

●又も東北地方大吹雪!!

北陸列車不通

吹雪は又復東海道北陸道に猛威を振ひ東海道は客車のみ辛うじて通じ北陸地方は絶對不通なり（大阪特電）

●古物商總會

[illegible]

●釘本氏生誕宴

本町の實業家釘本藤次郎氏は來る二十二日午後六時より紳士多數を花月に招待して同氏生誕五十回の自祝宴を張る可しと

●薫風會例會

[illegible]

●千五百町歩燒失

既報雲ヶ畑御獵は十七日より開始せる和歌山縣の山火事は十七日漸く鎭火したるが獲物尠なからず[illegible]燒失區域實に千五百町歩に[illegible]

[illegible]

●輸入雜貨近況

加工品の減少

[illegible]

春場所大相撲

七日目

▲十七日午後九時著東京特電

[illegible]

▲八日目取組

[illegible]

春場所星取表

[illegible]

▲大戸平休場

●貧民救助金（本社取扱）

一金五圓　崔玉花

根炭（一貫）　枝炭（一貫）　京城黄金町三丁目　大塚商店

岩手縣一戸町　元祖堂　高見商店

東洋捕鯨株式會社特約販賣店　鯨問屋　香月商店

牛乳　東亞牧場

京日案内

土地家屋放賣

各位　多田

外交員募集

ほねつぎ　柔術道場

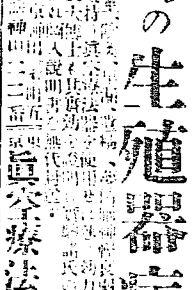
恩給年金即時　山口屋

礦物定量分析　坂元分析所

年金恩給　江州屋本店

男の生殖器病　眞空療法研究所

能く賣れる　Mゴムマリ　發賣元　飯田商店



人參エキス　朝鮮高麗人參直取引商　津村兄弟商會　龍山支店　大邱支店

醇良無双清酒　釀造元　首藤合名會社　發賣元　首藤京城支店　首藤釜山支店

内科　胃腸病　石川醫院

資本金壹千萬圓　頭取　安田善三郎　株式會社百三十銀行京城支店

診察時間　シメノウチ齒科醫院　電話八一二番

産科　婦人科　醫院　電話一二〇一番

櫻御殿

第百廿四回　大阪　霞の家主人

二人士（三）

利右衛門の居る座敷の次には、屈竟な士が十數人も詰て居た。利右衛門もし隙を見て逃走でもしやう氣色があつたら、駆け出して行手を防がうとの用意であつた。一同は畏まる旨を答へる

當時の大阪城は、斯くまでにして縁に墜われのある浪人を召し抱へやうと努めた。關ケ原の一戰で、石田小西浮田大谷など、秀頼―と云ふよりも寧ろ淀君に厚意を表して居た大名は悉く敗歸して、毛利を恃む前田家は北陸に隱れ、毛利元就は勢力の七八分を殺がれて今は僅かに防長二國を持つに過ぎない。その他の大小名も、皆な家康の前に跪いて、一圖に機嫌を損じない事のみを覺ふ。加藤（清正）福島、堀尾など故太閤の恩顧を受けた者等が、僅に厚意を運んで來るが、それは秀頼をのみ奉ずるので、淀君に盡すのではない。秀頼を太閤の嗣子として奉ずるので、眞個の厚意は京都の政所に懸いて居る

何事にも如才なく、さうして負けじ魂の淀君は、斯様模様を見聞くたびに無念の歯を噛みしめる。嗣子の秀頼さへ抱いて居れば、それ程の安心はあるまいのを、一人でも味方を作つて、まさかの時の用意に備へたい心がある

淀君は、江戸將軍の威勢が次第々々に輝き上るのを見るにつけ、太閤恩顧の大名が、政所へ厚意を運ぶを見るにつけ『誰も彼も恃むに足らぬ、人の心はよく分つた、内府様には内府様の御家來が無くては爲らない、一器量ある者は、大祿をもて召抱へよ』と申し渡す。淀君の手となり足となつて、大阪城を我物顔に立ち働いて居る大野修理一派も、また同じ思ひがある『太閤殿下御恩顧の士も今となつては頼むに足らない、ましてその他の大名は今日あつて明日が無い、新規お召抱への御家來に、十分の恩を着せて、お城の礎にもたまふ外はござるまい』と云ふ。浪人召抱へは夫から始まる。秀頼の所得は七八十萬石に過ぎぬが、大阪の城内には太閤の貯蓄して置いた金銀が山ほどもある、新規の家來に何れほどの物を遣つても、その爲めに基礎の動く氣遣ひはない

由つて諸方面に手を廻して、浪人を多く召し抱へる「秀頼様御頼み」の一言に動かされて、鎗槍提げ、鎧櫃を荷はせて、大阪の城へ入るものが、日に幾人あるかも知れない。また此と見込みのついた者へは、あらゆる便宜と物とを與へる、當時は到る處に浪人が多くあつた。蒲生浪人、佐々木浪人、瀧川浪人、佐々浪人、武田今川織田などの舊臣で、草深い田舍に隱れて居た者も少くない、それ等の人々が、淀君に旨を受けた秀頼の近臣に招かれて、我も我もと仕官する、淀君が浪人を欲しがるのは今の當家お舊臣等を欲しがるのと同じであつた

政所は太閤の正室であるから、順序から云ふと、表面秀頼の後見でなくてはならぬが、實際はさうでなかつた。秀頼と大阪城とを己の物にして、淀君があらゆる采配を揮つて居た。政所は太閤の後家として淋しい生涯を京都に送り、淀君は太閤薨去後の勢力を代表して大阪の城主であつた。太閤の富を、城を、勢力とは、一たん石田一派の手に移り、彼等の沒後は淀君の手に歸した。大阪の落城が案外に脆かつたのは、斯の太閤が、そこへ心の付かなかつたのに原因する。家や國の倒れるのは、大きな問題が原になるのは少くて、小さい油斷が根元になるのが多い。太閤の歿後、もし政所が秀頼を抱いて、大阪の城に居たら、豐家の滅亡もあんなに早くはなかつたらうと思はれる

京城土産お待ちかねる　師へあねしより木村屋パンの　（京城明治町 電二八七〇）

西洋料理 すき焼　おいしい家庭向料理へ！との希望を満し居り候　南大門通 電話二五七一番　カフエータイガー

毛皮なめし並に仕立　鳥獸剝製調進　羽根布團製造修理　毛皮類買入　京城本町二丁目　毛皮商　樽元商行　電話長三〇六五番

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科　院長 安部修三　京城永樂町二丁目金光教會隣　安部醫院　電話四一九番

東上に付當分休院す　十一月十五日　松山　松村醫院　松村三省

机座疊を得し娼と嫗を開く　松道
燈明や二三子招く普茶の夢　馬角
茶の花や道々製ぐ土手の上　露庵
牛逐て渡る流れや小六月　汀川
三寒と入る日の晴れ嫗を開く　伯水
染し吊せ柔の穂束嫗を開く　有常

■永登浦まで（一）　高須賀獣
[illegible]

日報俳壇

■寒雨俳句會詠草（續）
霞田の同將び往ぬ餅の月　秀
稲白き堵に集ふ小鳥かな　同
寒月に蹄を鳴らす騎兵哉　同
赤帽が革鞄御しぬ驛の雪　同
賑ひの我家懸しき蜜柑哉　凰
餅搗き消ゆる閑の曙　同
餅搗の灣る鳥渡二日の月　麥之助
試驗濟みて炬燵に休暇哉　同
手水鉢の氷が光る朝日哉　天
餅搗の臼に雪降る日暮哉　同
卓上に置いてる旭や水仙花　月
冬椿夕日に咲ける野寺哉　むけり
外套の襟立てゝ行く霰哉　同
小鳥來て庭木の雪を散らす哉　同
御勢ら働ける雪の曠野哉　渓
山茶花や一輪挿の古き瓶　同
雪積る靜な語る團爐裏哉　同
寒月や爆末の梢に鳴く梟　江
■洪州吟社詠草
新聞に鄕飛ぶ驛の小春哉　鄕ノ蹊

新刊紹介

▲修身お伽噺（第一）[illegible]
▲新築神經衰弱獨療法 [illegible]
▲少女畫報（一月號）[illegible]
▲國民俳論 [illegible]
▲日の丸（二月號）[illegible]
▲講談倶樂部（一月號）[illegible]
▲活動寫眞雜誌 [illegible]
▲大陸（新年號）[illegible]
▲朝鮮之宗教（一月號）[illegible]
▲主婦之友（新年號）[illegible]
▲少年倶樂部（一月號）[illegible]
▲大阪遞都報（一月號）[illegible]
▲滿蒙研究彙報（二四）[illegible]
▲關東虎之卷（六ノ一）[illegible]
▲嗜好（一ノ一）[illegible]
▲婦人週報（四ノ二）[illegible]

大阪期米

△十七日後場
▲當限寄付　二十三圓二十七錢
▲中限寄付　二十三圓十二錢
▲先限寄付　二十三圓○六錢

六十九錢と辷り七十錢二節幾らず三節當ノ三錢より十錢と挨ね七錢中七十三錢より六錢あつて五錢四節中二十圓十六錢先七十四錢より七錢と上伸せしもザリゞ下前ひ結局二錢迄引下げの惡

仁川米豆取引所

錢一節七十錢一錢二錢三錢二錢三錢二錢三節七十三錢五錢六錢四錢五錢四節七十四錢五錢七錢六錢三錢二錢三錢二錢

平均値段	
一節	二十一圓七十一錢
二節	二十一圓七十六錢
三節	二十一圓七十四錢

たんせきぜんそくに油斷すな

たんせき　ぜんそく　輕い内に治療すること專門藥龍角散

たんせき ぜんそく 龍角散（りうかくさん） 藥

龍角散の偉効
本藥は

○たんに常に惱む人
○ぜんそくで息切する人
○せき嗽で夜眠れぬ人
○感冒が長びく人
○肺病で常に力なき人
○たん臭氣あり時々血交る人
○小兒百日ぜきはしかせき
○音聲かれ咽喉の痛み
○呼吸器疾患一切のたんせき

定價　三十錢　八十錢　二圓
販賣　全國藥店にあり
本舗　東京市神田區豐島町　藤井得三郎

溫泉と洗料

溫泉水滑かにして凝脂を洗ふ趣
初春の長閑さと異なりし覺かさ

中村吉右衛門談

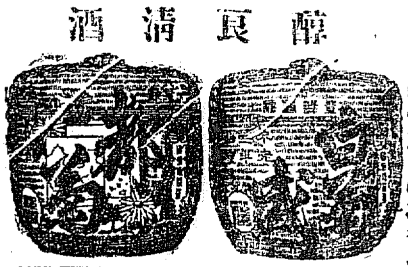
十一月十二月と芝居の方を休みまして修善寺で靜養をいたしました、お蔭で元氣も出て參りましたし、肉附もよくなつたと皆様から云はれますので、私もまた大安心でございます。溫泉水滑かにして凝脂を洗ふと云ふ白樂天の詩にございます様な趣きもございまして、誠に嬉々と樂なものでございますから、出來ますことなら芝居も年に五六回ぐらゐの出勤をしまして、あとは氣を樂に緩りと溫泉に保養をしまして、考へたり稽古をしたりしたいと思ひます。此の新年には年賀をお濟ませになりまして溫泉へお出かけになります方もおありでございませうが、全く市井の心持とは全く離れまして初春の長閑さはまた違ひまして、鋭氣を養ふと云ふことから見ましても大變宜しい様に存じます。お忙がしいお方は溫泉とこゝろではないと仰しやるでございませうが、[illegible]

▲中村時藏曰く　[illegible]

洗料のミツワ石鹸と、健膚藥のミツワ雪の雫とをお忘れにならない様におすゝめいたします。溫泉は日に何回となく浸りますものですから、今更洗料の必要もないとお考へになりませうが、此は年來の習慣からでもございませうが只溫泉へ浸りましただけでは何だか皮膚が物足りない様な、落ちつかないと云ふ様なことはなくなります。よく湯屋まぎれや又身體の爲に散歩に出たりしますから、朝だけでなく夕暮にも鏡臺前に座りましたら、ミツワ雪の雫をお用ゐになりまして皮膚を健やかにして置きます様におすゝめいたします。溫泉でない普通の入浴には勿論ミツワ石鹸とミツワ雪の雫を必ずお用ゐになります様おすゝめいたします

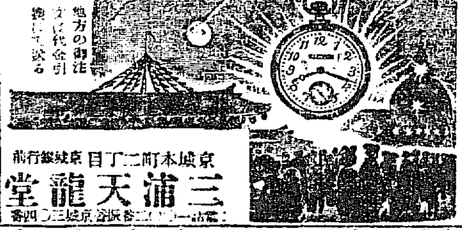
（ミツワ文庫七・一）

醇良清酒



大阪府堺市　釀造發賣元　肥塚源次郎
京城本町一丁目　特約販賣店　佐藤牧太郎　電話長二九番

時計貴金屬指輪眼鏡商



地方の御注文は代金引換にて送る
京城本町二丁目　京城驛前行
三浦天龍堂

新築落成　ご大勉强
背景に南山を控へ眼下に京城市街を瞰下し宴會に便に會席小料理を特に御淸閑に御滿足を得せしめ候間御愛顧を謀り御來遊を御待申上候

一日園　南山町三丁目　電話四九番

桐生町は世界の大機業地　產地直賣
△△△織物停滯投賣の一策として
五割安販賣　第一回
縮緬兵兒帶
糯袢袖
五割引
銘仙　綿大島
大島銘仙六圓
桐生織物

最上醬油
朝鮮仁川府
高杉醬油釀造場

釜山出帆廣告
汽船 門司、神戸、大阪行
和歌浦丸　十一月十九日後五時出
立神丸　十一月十二日後十時出
元山、清津、浦鹽行
和歌浦丸　十一月十二日後五時出
立神丸　十一月十三日後四時出
天草丸　每月二日九日十六日廿三日廿四日午後十時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行
第三琴平丸　十一月　日後六時出
○門司、宇品、神戶、大阪行
第二琴平丸　十一月　日後六時出
本船取扱店　大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆
○秀吉丸　十一月廿四日後四時出　釜山、下關、神戶、大阪行
大有丸　十一月十七日後四時出
君代丸　十一月廿一日後四時出
神代丸　十一月廿六日後四時出
仁川取扱店　高杉回漕部

日本郵船仁川出帆
○大連行　秦皇島行
相模丸　十一月廿一日
山東丸　十一月三十日　正午出
高砂丸
仁川取扱店　堀回漕部

共同汽船仁川出帆
芝罘、大連行
共同丸　十一月十六日午後入港　十一月十八日前十一時出帆
阿波共同汽船株式會社　本町四丁目（電話一七三番）
仁川代理店　野口商會
京城取次店　河村運送店

朝鮮郵船
[illegible]

大阪商船株式會社　汽船出帆廣告
[illegible]

間自動車著發時刻　金泉支部
[illegible]